

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

定額による減価償却を実施している。

(2) 資産の範囲について

資産の範囲には、現金預金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	前期末残高
現金預金	20,361,991	17,176,705
合計	20,361,991	17,176,705
預り金	1,680,165	1,652,389
合計	1,680,165	1,652,389
次期繰越収支差額	18,681,826	15,524,316

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,396,860	1,724,330	672,530
合計	2,396,860	1,724,330	672,530

(単位:円)

区分	前期末残高	当期末残高
敷金	13,000	13,000
合計	13,000	13,000